NETGEAR

# ReadyNAS
# Duo v2 / NV+ v2
# ハードウェアマニュアル

350 East Plumeria Drive
San Jose, CA 95134
USA

2011 年 9 月
202-10908-01

## テクニカルサポート

電話によるサポートサービスを受けるには、ウェブサイトまたはお電話による事前登録が必要です。詳細は、本製品付属の登録用紙（FAX 用）またはネットギアのウェブサイトをご覧ください（*http://www.NETGEAR.jp/supportInfo/*）。

## 商標

NETGEAR、NETGEAR のロゴ、ReadyNAS、X-RAID、X-RAID2、Auto Uplink、NeoTV、FrontView、RAIDar、RAIDiator、Network Storage Processor、および NSP は NETGEAR, Inc. の商標および登録商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、および Vista は Microsoft 社の登録商標です。その他のブランドや製品名は、それぞれの所有者に帰属する商標または登録商標です。

## 免責事項

製品の内部設計、操作性や機能性、信頼性などを改善するため、NETGEAR は本書に説明された製品に予告なく変更を加えることがあります。

NETGEAR は、本製品の使用や適用、または製品の回路設計によって起こりうる一切の責任を負いかねます。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI—B

# 目次

# はじめに

# 1

NETGEAR ReadyNAS® ストレージシステムをお買い上げいただき、ありがとうございます。この*ハードウェアマニュアル*は、Duo v2 および NV+ v2 ストレージシステムの概要および機能を説明しています。

本章には以下の内容が含まれます。

- *追加ドキュメント*
- *設置場所*
- *システム要件*
- *ディスクが同梱されていないモデル*

# 追加ドキュメント

ストレージシステムの構成、管理、および使い方についての詳細情報は、下記の URL より入手可能なドキュメントを参照してください。

*http://www.readynas.com/ja/documentation*

NETGEAR は ReadyNAS 製品をサポートするためのコミュニティ Web サイトを運営しています。レビュー、チュートリアル、比較チャート、ソフトウェアアップデート、ドキュメントその他のコンテンツは、*http://readynas.com/ja/* にてご覧いただけます。

# 設置場所

コンパクトな ReadyNAS Pro は、卓上や棚などにも設置いただけます。

設置場所を検討する際は、以下の点にご留意ください。

- 取り回しがしやすく、ケーブル接続がしやすい場所
- 本体に液体や湯気などがかからない場所
- 本体の通気性・排気性が妨げられない場所
- 平らな安定した場所に設置すること
- 周囲の温度が、NETGEAR 指定の動作温度を超えないこと
- 電源ケーブルをしっかりと接続できること

# システム要件

- イーサネット接続が可能なこと
- Microsoft Windows 7、Vista、XP、2000、Mac OS、UNIX、Linux
- Microsoft Internet Explorer 7.0+、Apple Safari 2.0 以降、Mozilla Firefox 2.0 以降、Opera 9.5 以降、Google Chrome 10 以降のブラウザ
- ハードディスクドライブ — NETGEAR は、NETGEAR HDD コンパチビリティリストに記載された HDD のご使用を推奨します。詳しくは *http://www.readynas.com/ja/?page_id=82* をご覧ください。

# ディスクが同梱されていないモデル

あらかじめハードディスクドライブがインストールされていない ReadyNAS ストレージシステムをお買い上げの場合、本体をご使用になる前にこの手順に従う必要があります。次の手順は Duo v2 で説明されていますが、同じ手順が NV+ v2 にも適用されます。

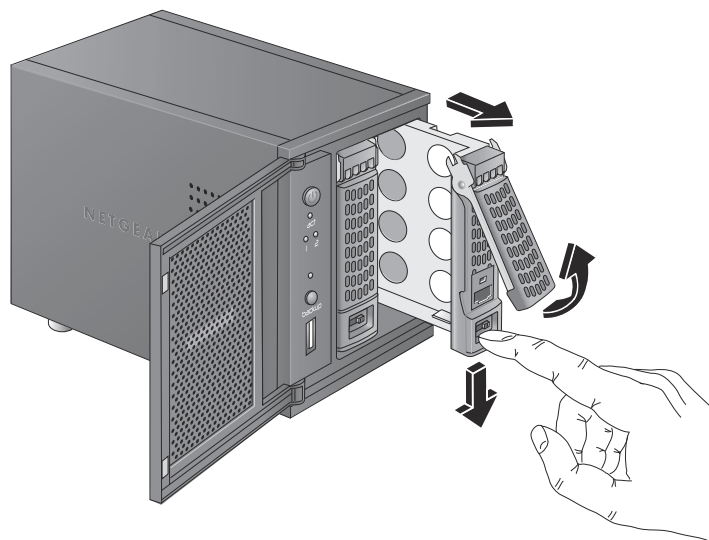
➤ **ディスクが同梱されていないモデルを初めて使用する前に：**

1. NETGEAR ハードウェア互換リスト記載のハードデイスクドライブを少なくとも 1 台入手してください。

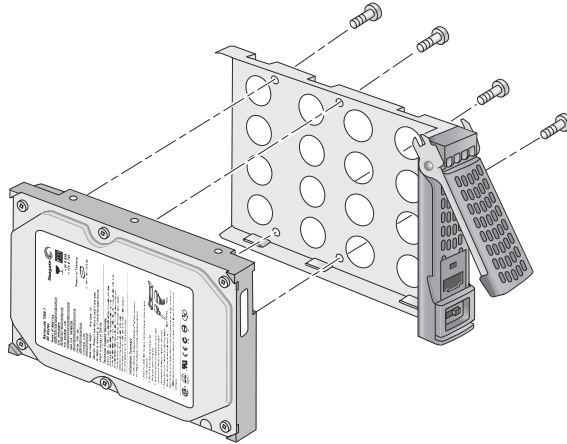
   詳しくは *http://www.readynas.com/ja/?page_id=82* をご覧ください。

   以前にフォーマット済みのディスクを使用する場合は、27 ページの*以前にフォーマット済みのディスク*に記載された注意事項をお読みください。

2. 本体の電源を切り、次のようにドライブベイにディスクを挿入します。

   **a.** ハードディスクトレイのディスク取り出しボタンを押します。

トレイハンドルが開きます。

**b.** ディスクトレイを取りだし、新しいディスクをトレイ上に配置して、本体付属のネジを使用してディスクとトレイを組み立てます。

ハードディスクのコネクタ部分がトレイハンドルの反対側を向くようにセットしてください。

**c.** ディスクトレイを本体に挿し込み、ハンドルを押してハードディスクを固定します。

**3.** 本体の電源を入れます。

**4.** 以前にフォーマット済みのディスクを使用している場合、工場出荷状態の再起動を実行します。

詳細情報は 16ページの*BOOT MENU（ブートメニュー）*および 27ページの*以前にフォーマット済みのディスク*を参照してください。

---

**注意：** このプロセスはディスクに含まれるデータをすべて消去し、ディスクを X-RAID2™ にフォーマットします。維持したいデータを含む以前にフォーマット済みのディスクを使用する場合、ReadyNAS で使用する前に外付けドライブにデータを移動させる必要があります。

---

工場出荷状態の状態に戻すプロセスは、ディスクのフォーマット、オペレーティングシステムのインストール、ボリュームの作成に最大 30 分かかることがあります。コンピュータにインストールした RAIDar ユーティリティで進捗を確認できます。RAIDar についての詳細情報は、*http://www.readynas.com/ja/documentation* にある*ソフトウェアマニュアル*を参照してください。

同時に複数のディスクをインストールする場合、それらを 同期化する必要があります。ディスクの容量によって、このプロセスには数時間かかる場合があります。ReadyNAS を引き続き使用することはできま すが、ボリュームの同期を終えるまでアクセスは遅くなります。

# 2 ReadyNAS Duo v2

この章では、ReadyNAS Duo v2 の概要および機能を説明しています。次の内容が含まれます。

# 正面と側面

下図に ReadyNAS Duo v2 の正面と側面を示します。

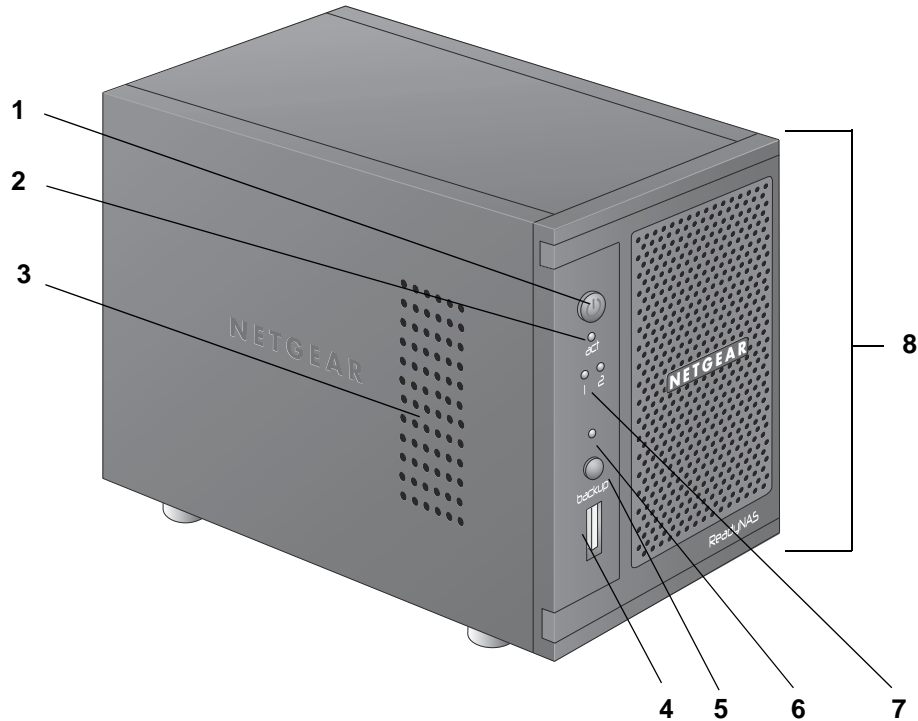



**図 1 ReadyNAS Duo v2 正面と側面**

1. 電源ボタンと LED
2. ディスクアクティビティ LED
3. 換気孔
4. USB 2.0 ポート
5. バックアップボタン
6. USB/ バックアップステータス LED
7. ディスク LED
8. ドライブベイカバー

# ドライブベイ

下図に ReadyNAS Duo v2 のドライブベイを示します。

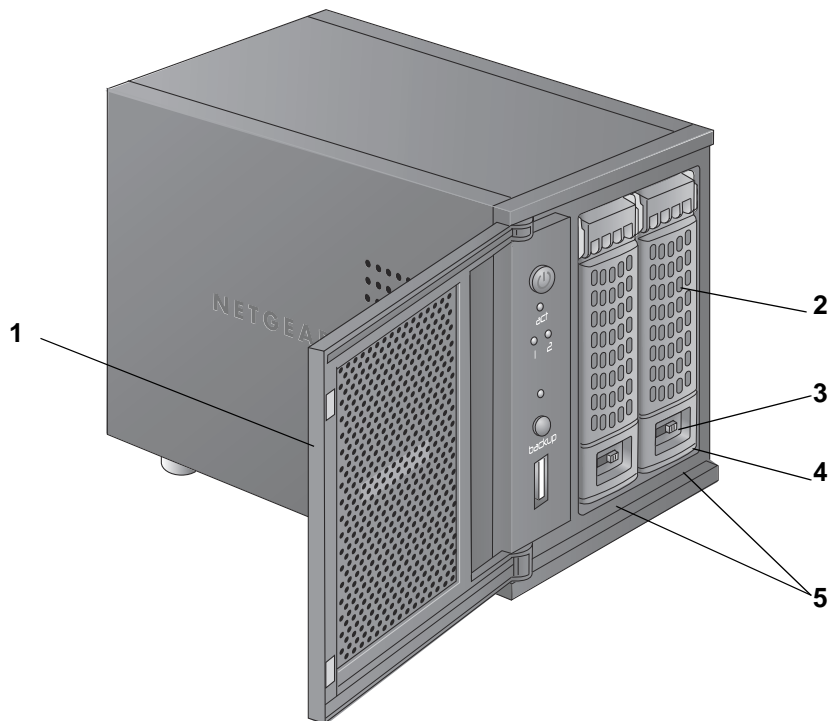



**図 2 ReadyNAS Duo v2 ドライブベイ**

1. ドライブベイカバー
2. ディスクトレイハンドル
3. ドライブトレイロック機構
4. ドライブトレイ取り出しボタン
5. ドライブベイ

下図に Duo v2 の ReadyNAS ディスクトレイを示します。

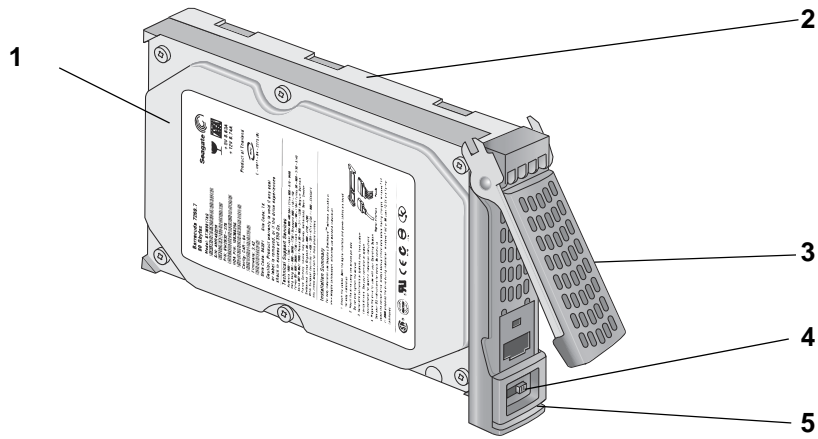



**図 3 ReadyNAS Duo v2 ディスクトレイ**

1. ハードドライブ
2. ディスクトレイ
3. ディスクトレイハンドル
4. ディスクトレイロック機構
5. ディスクトレイ取り出しボタン

# 背面

下図に ReadyNAS Duo v2 の背面を示します。

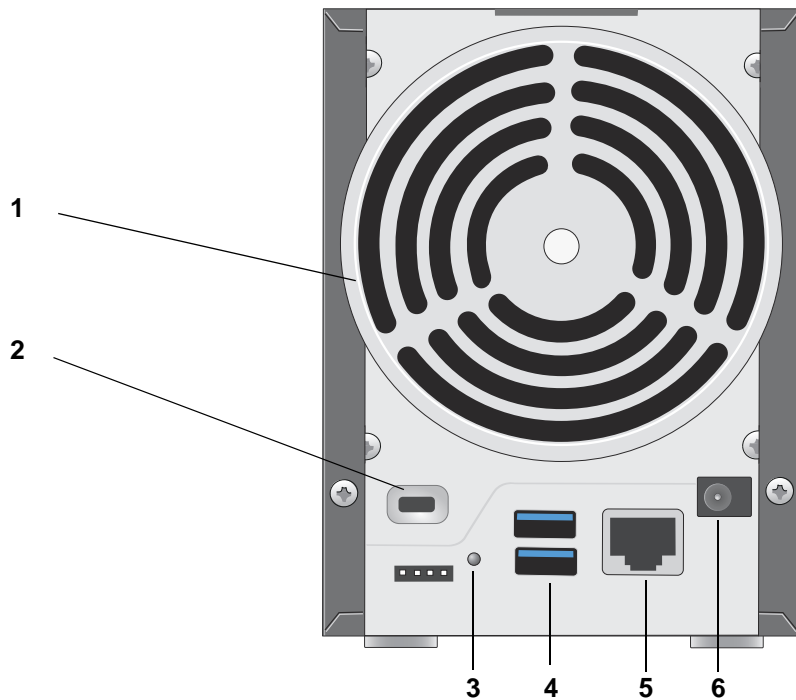



**図 4 ReadyNAS Duo v2 背面**

1. 換気ファン
2. Kensington ロック接続口
3. リセットボタン
4. USB 3.0 ポート
5. ギガビットイーサネットポート
6. 電源アダプタ差込口

# ステータス情報

下表のインジケータからご利用中のシステムの状況を把握することができます。

| LED | 説明 |
|---|---|
| 電源ボタンと LED | このボタンを押して ReadyNAS 電源を入れます。LED には次のステータスがあります。<br>• **点滅：**起動中またはシャットダウン中<br>• **点灯：**電源オン<br>• **消灯：**電源オフ |
| ディスク LED (1、2) | 各ドライブベイにはそれぞれの状態を示す LED があります。ディスク LED には次のステータスがあります。<br>• **点灯：**電源が入っており、ディスクは正常に動作しています。<br>• **点滅：**ディスクが取り出されたか、エラーが発生したか、または再同期中です。<br>• **消灯：**ディスクが存在しません。 |
| ディスクアクティビティ LED | ディスクアクティビティ LED には次のステータスがあります。<br>• **点滅：**ディスクにアクセス中です。<br>• **消灯：**ディスクにアクセスしていません。 |
| イーサネットポート（背面） | 緑色と黄色の 2 つの LED ステータスインジケータがこのポートに内蔵されています。次のようにポート速度とアクティビティを示します。<br>• **緑色がオン、黄色がオフ：** 1000 Mbps の接続速度、アクティビティなし<br>• **緑色が点滅、黄色がオフ：** 1000 Mbps の接続速度、アクティビティあり<br>• **緑色がオフ、黄色がオン：** 10 または 100 Mbps の接続速度、アクティビティなし<br>• **緑色がオフ、黄色が点滅：** 10 または 100 Mbps の接続速度、アクティビティなし<br>• **緑色がオフ、黄色がオフ：** 接続なし |

# システムシャットダウン

電源ボタンを使うか、または ReadyNAS Dashboard（ウェブブラウザ管理画面）から ReadyNAS をシャットダウンすることができます。

- **電源ボタンを使う**
  - **推奨されるシャットダウン方法：電源**ボタンを 2 回押して、正常なシャットダウンを実行します。
  - **強制シャットダウン：**本体が応答しないときは、電源プラグを抜きます。
- **ReadyNAS Dashboard の使用：**Duo v2 のシャットダウンに ReadyNAS Dashboard を使用する方法については、*http://www.readynas.com/ja/documentation* で提供されている *ReadyNAS RAIDiator 5.x ソフトウェアマニュアル*を参照してください。

# BOOT MENU（ブートメニュー）

BOOT MENU を使い、ReadyNAS を再起動したり、またはトラブルの解決を試みることができます。BOOT MENU からは次のモードが選択できます。

- **NORMAL:** 電源ボタンを押して起動したときと同じように、ReadyNAS を起動します。
- **FACTORY DEFAULT:** ReadyNAS を工場出荷時の状態に戻すために用います。FACTORY DEFAULT を選択すると、RAIDar ユーティリティから RAID モードを選択する操作が実行されるのを 10 分間待ちます。10 分間経過するか、RAIDar から操作を行うと、工場出荷時の状態へ戻す作業が始まります。ReadyNAS を工場出荷時の状態に戻すと、お客様のデータは全て失われます。

**警告！**

**ReadyNAS を工場出荷時の状態に戻すと、すべてのデータは消去されます。**

- **OS REINSTALL:** ReadyNAS 内蔵のフラッシュメモリからハードディスクへ、ファームウェアの再インストールを行います。ReadyNAS が起動しなくなった場合などに有効です。OS REINSTALL を選択すると、管理者パスワードや IP アドレスなど、一部の設定が工場出荷時の内容に戻ります。
- **TECH SUPPORT:** NETGEAR テクニカルサポートの担当者によりお客様の ReadyNAS へリモートアクセスしてトラブルシューティングをする場合に用います。NETGEAR テクニカルサポートからの指示が無い場合は使用しないでください。
- **SKIP VOLUME CHECK:** ReadyNAS は起動時に、ボリューム全体をスキャンし、ファイルシステムの整合性をチェックします。ボリュームに問題が見つかった場合は修復を試みます。ディスクに複数の問題が発生した場合、このプロセスは正常に終了できず、ReadyNAS は起動しません。その場合は、SKIP VOLUME CHECK を選択して、スキャンを省略します。

**警告！**

**ボリュームチェックの省略は、NETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示があった場合のみ使用してください。**

- **MEMORY TEST:** ReadyNAS 内蔵のメモリをテストします。
- **DISK TEST:** ReadyNAS 内蔵のハードディスクをテストします。ディスクの容量によって実行時間は異なります。テストの結果問題が発見されると、RAIDar ユーティリティに表示されます。

### ➢ BOOT MENU にアクセスする

1. 本来の電源を切ります。
2. ペーパークリップをまっすぐに伸ばしたものなどを使い、リセットボタン（背面）を押しながら、前面の電源ボタンを押して**電源**を入れます。
3. 電源ボタン LED、USB / バックアップステータス LED、ディスク 1 LED、ディスク 2 LED の全てが同時に点灯したら、リセットボタンから手を離します。
4. **バックアップ**ボタンを押して BOOT MENU のモードを選びます。

| **モード** | **電源 LED** | **ディスク 1LED** | **ディスク 2LED** | **USB LED** |
|---|---|---|---|---|
| NORMAL | ■ | □ | □ | □ |
| FACTORY DEFAULT | □ | ■ | □ | □ |
| OS REINSTALL | □ | □ | ■ | □ |
| TECH SUPPORT | □ | □ | □ | ■ |
| SKIP VOLUME CHECK | ■ | ■ | □ | □ |
| MEMORY TEST | ■ | □ | ■ | □ |
| DISK TEST | ■ | □ | □ | ■ |

凡例：

- 点灯：■
- 消灯：□

5. 選択したモードで ReadyNAS を起動するには、もう一度**リセット**ボタンを押します（すぐに手を離します）。

# ReadyNAS NV+ v2

# 3

この章では、ReadyNAS NV+ v2 の概要および機能を説明しています。次の内容が含まれます。


- *正面と側面*
- *ドライブベイ*
- *背面*
- *ステータス情報*
- *システムシャットダウン*
- *BOOT MENU（ブートメニュー）*

## 正面と側面

下図に ReadyNAS  NV+ v2 の正面と側面を示します。

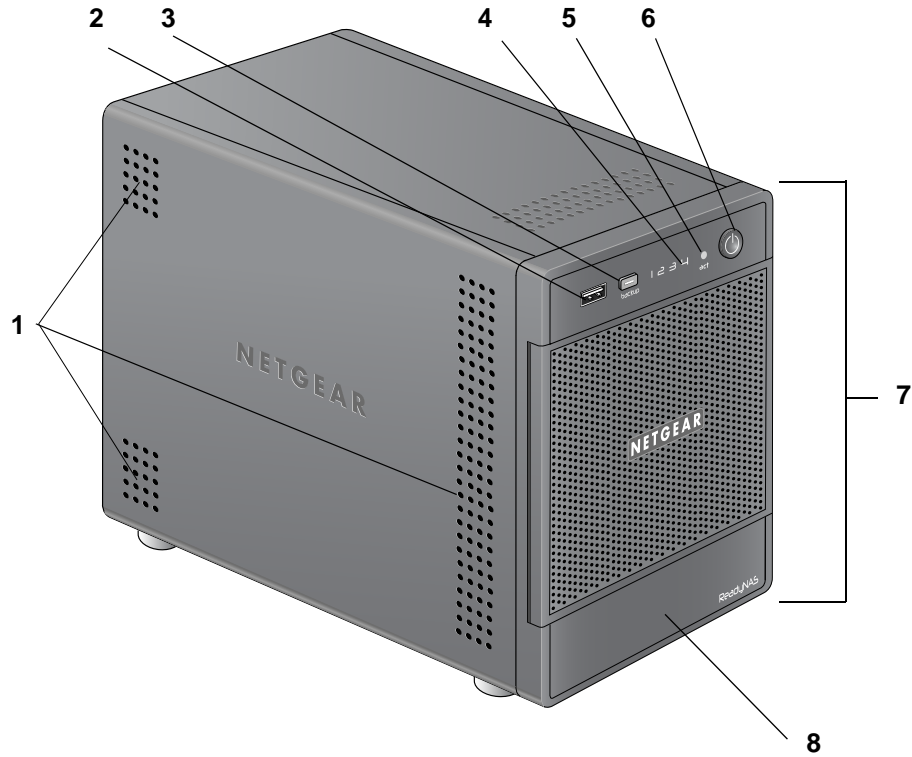



**図 5 ReadyNAS NV+ v2 正面と側面**

1. 換気孔
2. USB 2.0 ポート
3. バックアップボタンとバックアップ LED
4. ディスク LED
5. ディスクアクティビティ LED
6. 電源ボタンと LED
7. ドライブベイカバー
8. ステータス・ディスプレイ

# ドライブベイ

下図に ReadyNASNV+ v2 のドライブベイを示します。

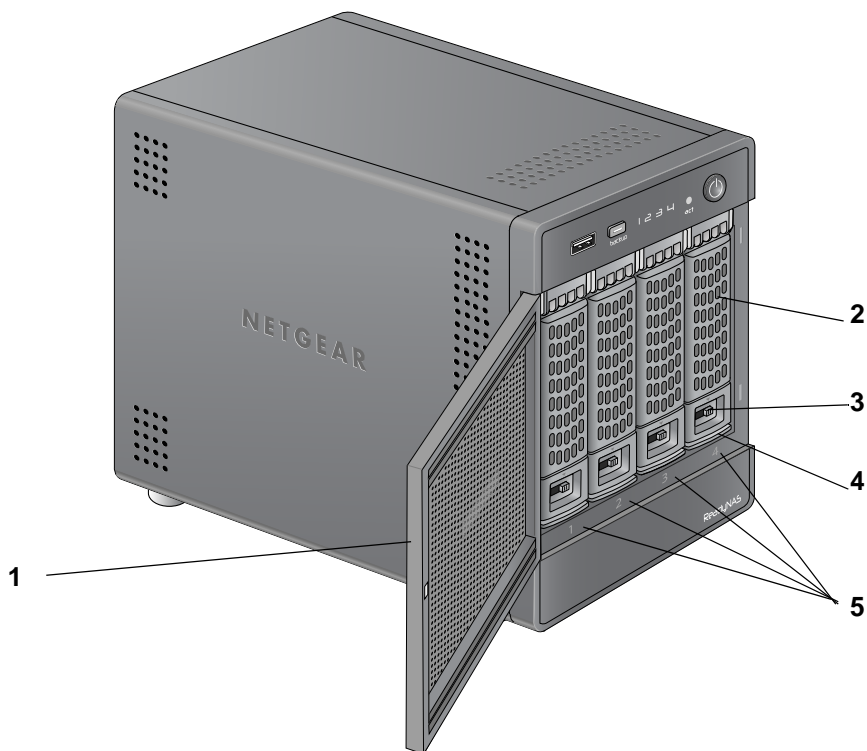



**図 6 ReadyNASNV+ v2 ドライブベイ**

1. ドライブベイカバー
2. ディスクトレイハンドル
3. ドライブトレイロック機構
4. ドライブトレイ取り出しボタン
5. ドライブベイ

下図に ReadyNAS NV+ v2 のディスクトレイを示します。

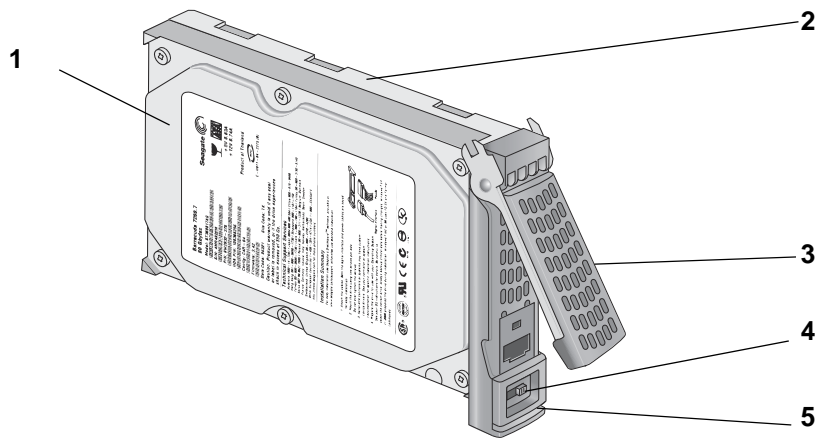



**図 7 ReadyNAS NV+ v2 ディスクトレイ**

1. ハードドライブ
2. ディスクトレイ
3. ディスクトレイハンドル
4. ディスクトレイロック機構
5. ディスクトレイ取り出しボタン

# 背面

下図に ReadyNAS NV+ v2 の背面を示します。

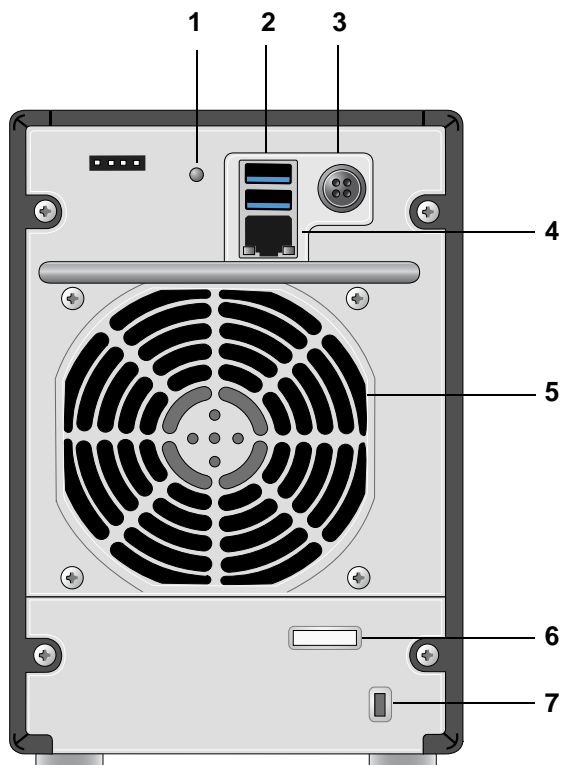



**図 8 ReadyNASNV+ v2 背面**

1. リセットボタン
2. USB 3.0 ポート
3. 電源ケーブル差込口
4. ギガビットイーサネット
5. 換気ファン
6. ケーブルクリップ
7. Kensington ロック接続口

# ステータス情報

下表のインジケータからご利用中のシステムの状況を把握することができます。

| LED | 説明 |
|---|---|
| 電源ボタンと LED | このボタンを押して ReadyNAS 電源を入れます。LED には次のステータスがあります。<br>• **点滅 :** 起動中またはシャットダウン中<br>• **点灯 :** 電源オン<br>• **消灯 :** 電源オフ |
| ディスク LED (1、2、3、4) | 各ドライブベイにはそれぞれの状態を示す LED があります。ディスク LED には次のステータスがあります。<br>• **点灯 :** 電源が入っており、ディスクは正常に動作しています。<br>• **点滅 :** ディスクが取り出されたか、エラーが発生したか、または再同期中です。<br>• **消灯 :** ディスクが存在しません。 |
| ディスクアクティビティ LED | ディスクアクティビティ LED には次のステータスがあります。<br>• **点滅 :** ディスクにアクセス中です。<br>• **消灯 :** ディスクにアクセスしていません。 |
| イーサネットポート (背面) | 緑色と黄色の 2 つの LED ステータスインジケータがこのポートに内蔵されています。次のようにポート速度とアクティビティを示します。<br>• **緑色がオン、黄色がオフ :** 1000 Mbps の接続速度、アクティビティなし<br>• **緑色が点滅、黄色がオフ :** 1000 Mbps の接続速度、アクティビティあり<br>• **緑色がオフ、黄色がオン :** 10 Mbps または 100 Mbps の接続速度、アクティビティなし<br>• **緑色がオフ、黄色が点滅 :** 10 Mbps または 100 Mbps の接続速度、アクティビティなし<br>• **緑色がオフ、黄色がオフ :** 接続なし |

# システムシャットダウン

電源ボタンを使うか、または ReadyNAS Dashboard (ウェブブラウザ管理画面) から ReadyNAS をシャットダウンすることができます。

- **電源ボタンを使う**
  - **推奨されるシャットダウン方法 : 電源**ボタンを 2 回押して、正常なシャットダウンを実行します。
  - **強制シャットダウン :** 本体が応答しないときは、電源プラグを抜きます。
- **ReadyNAS Dashboard の使用 :** NV+ v2 のシャットダウンに ReadyNAS Dashboard を使用する方法については、*http://www.readynas.com/ja/documentation* で提供されている *ReadyNAS RAIDiator 5.x ソフトウェアマニュアル*を参照してください。

# BOOT MENU（ブートメニュー）

BOOT MENU を使い、ReadyNAS を再起動したり、またはトラブルの解決を試みることができます。BOOT MENU からは次のモードが選択できます。

- **NORMAL:** 電源ボタンを押して起動したときと同じように、ReadyNAS を起動します。
- **FACTORY DEFAULT:** ReadyNAS を工場出荷時の状態に戻すために用います。FACTORY DEFAULT を選択すると、RAIDar ユーティリティから RAID モードを選択する操作が実行されるのを 10 分間待ちます。10 分間経過するか、RAIDar から操作を行うと、工場出荷時の状態へ戻す作業が始まります。ReadyNAS を工場出荷時の状態に戻すと、お客様のデータは全て失われます。

**警告！**

**ReadyNAS を工場出荷時の状態に戻すと、すべてのデータは消去されます。**

- **OS REINSTALL:** ReadyNAS 内蔵のフラッシュメモリからハードディスクへ、ファームウェアの再インストールを行います。ReadyNAS が起動しなくなった場合などに有効です。OS REINSTALL を選択すると、管理者パスワードや IP アドレスなど、一部の設定が工場出荷時の内容に戻ります。
- **TECH SUPPORT:** NETGEAR テクニカルサポートの担当者によりお客様の ReadyNAS へリモートアクセスしてトラブルシューティングをする場合に用います。NETGEAR テクニカルサポートからの指示が無い場合は使用しないでください。
- **SKIP VOLUME CHECK:** ReadyNAS は起動時に、ボリューム全体をスキャンし、ファイルシステムの整合性をチェックします。ボリュームに問題が見つかった場合は修復を試みます。ディスクに複数の問題が発生した場合、このプロセスは正常に終了できず、ReadyNAS は起動しません。その場合は、SKIP VOLUME CHECK を選択して、スキャンを省略します。

**警告！**

**ボリュームチェックの省略は、NETGEARNETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示があった場合のみ使用してください。**

- **MEMORY TEST:** ReadyNAS 内蔵のメモリをテストします。
- **DISK TEST:** ReadyNAS 内蔵のハードディスクをテストします。ディスクの容量によって実行時間は異なります。テストの結果問題が発見されると、RAIDar ユーティリティに表示されます。

- **BOOT MENU にアクセスする**

1. 本来の電源を切ります。
2. ペーパークリップをまっすぐに伸ばしたものなどを使い、リセットボタン（背面）を押しながら、前面の電源ボタンを押して**電源**を入れます。
3. ステータス表示画面がブートメニューメッセージを表示するまで、**リセット**ボタンを押し続けます。
4. **バックアップ**ボタンを押して BOOT MENU のモードを選びます。

   ステータス表示画面に現在のブートモードオプションが表示されます。

5. 選択したモードで ReadyNAS を起動するには、もう一度リセットボタンを押します（すぐに手を離します）。

# ディスク 4

ReadyNAS ストレージシステムでは対応のディスクのみをお使いください。互換性リストに無いハードディスクをお使いの場合、NETGEAR テクニカルサポートによる対応をお断りする場合があります。ReadyNA SNETGEAR でお使いになるハードディスクは、NETGEAR ハードウェア互換性リスト（*http://www.readynas.com/ja/?page_id=82*）からお選びください。

ReadyNAS ストレージシステムのディスク構成についての情報は、*http://www.readynas.com/ja/documentation* で提供されている *ReadyNAS ソフトウェアマニュアル*を参照してください。

この章には次の内容が含まれます。

# 以前にフォーマット済みのディスク

下表に記載されるように、以前にフォーマット済みの ディスクを ReadyNAS 本体で使用するときは注意が必要です。

**表 1. フォーマット済みのディスクに関する注意**

| 本体の状況 | 注意 |
|---|---|
| ReadyNAS 本体にディスクがない ( ディスクレス ) | 本体の電源を切り、8 ページの *ディスクが同梱されていないモデル* の説明通りにディスクを挿入します。その後、16 ページの *BOOT MENU(ブートメニュー)* で説明される通りに工場出荷状態での再起動を実行します。<br><br>**注意：** このプロセスは以前にフォーマット済みのディスクに含まれるデータをすべて消去し、X-RAID2 に再フォーマットします。ディスク上のデータを維持したい場合、ReadyNAS 本体で以前にフォーマット済みのディスクを使用する前に外付けドライブにデータを移動させる必要があります。<br><br>このプロセスに従わずに以前にフォーマット済みのディスクを使用することはできません。たとえば、Duo v1、NV+ v1、または Windows オペレーティングシステム向けにフォーマットされたディスクを使用しようとすると、RAIDar が “Corrupt Root” エラーメッセージを表示します。 |
| ReadyNAS 本体が 1 台以上のディスクで運用中 | 28 ページの *ディスクを追加する* で説明される通り、本体の稼働中に空のディスクベイにディスクを挿入します。既存のディスクと同じ形式で自動的にディスクをフォーマットします。<br><br>**注意：** このプロセスは以前にフォーマット済みのディスクに含まれるデータをすべて消去します。ディスク上のデータを維持したい場合、ReadyNAS 本体で以前にフォーマット済みのディスクを使用する前に外付けドライブにデータを移動させる必要があります。 |

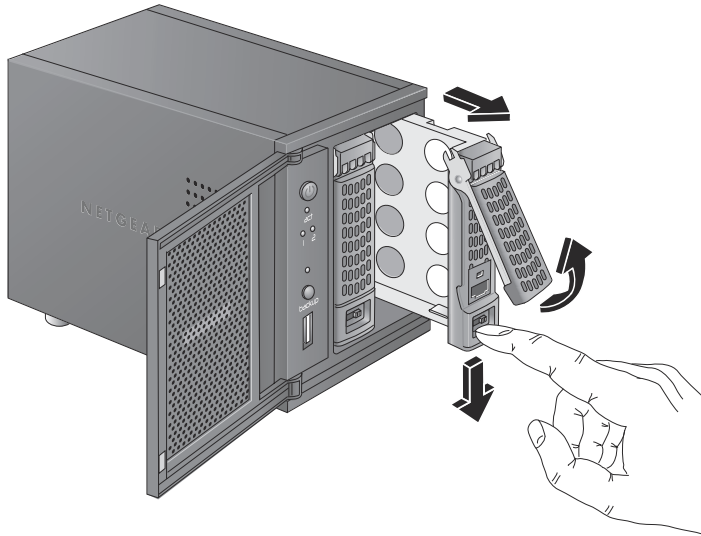
以前にフォーマット済みのディスクは、NETGEAR ハードウェア互換性リスト (*http://www.readynas.com/ja/?page_id=82*) に記載されているものを使用する必要があります。

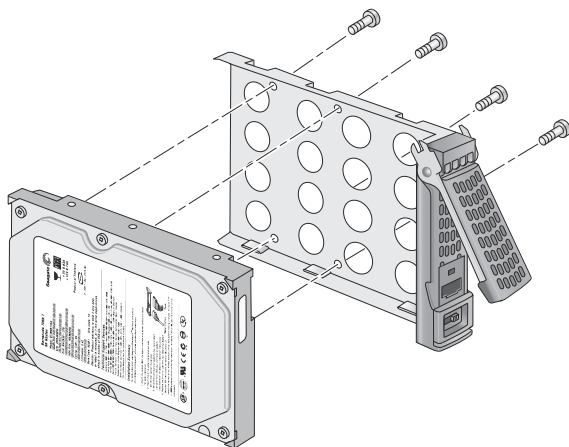
# ディスクを追加する

ディスクを追加する際に本体の電源を切る必要はありません。

以前にフォーマット済みのディスクを Duo v2、NV+ v2 に追加する場合は、27 ページの*以前にフォーマット済みのディスク*の注意をお読みください。

➤ **ディスクを追加する**

1. ハードディスクトレイのディスク取り出しボタンを押します。

トレイハンドルが開きます。

2. ディスクトレイを取りだし、新しいディスクをトレイ上に配置して、本体に付属のネジを使用してディスクとトレイを組み立てます。

   ハードディスクのコネクタ部分がトレイハンドルの反対側を向くようにセットしてください。

**3.** ディスクトレイを本体に挿し込み、ハンドルを押してハードディスクを固定します。

新しいディスクのボリュームへの同期はバックグラウンドで行われます。ディスクの容量によって、このプロセスには数時間かかる場合があります。ReadyNAS を引き続き使用することはできま すが、ボリュームの同期を終えるまでアクセスは遅くなります。メール警告を設定した場合は、このプロセスが完了した時にメールが送信されます。

# 故障ディスクの通知

ReadyNAS 上のディスクが故障すると、メールで通知されます。ReadyNAS Dashboard は、故障ディス クに関する情報を表示します。

ReadyNAS Dashboard を使い、ご利用の機種のハードディスクメーカーとモデルをご確認ください。

ReadyNAS Dashboard を使ったメールアラートの設定と ReadyNAS Dashboard の使い方については、*ReadyNAS ソフトウェアマニュアル*をご覧ください。

**警告！**

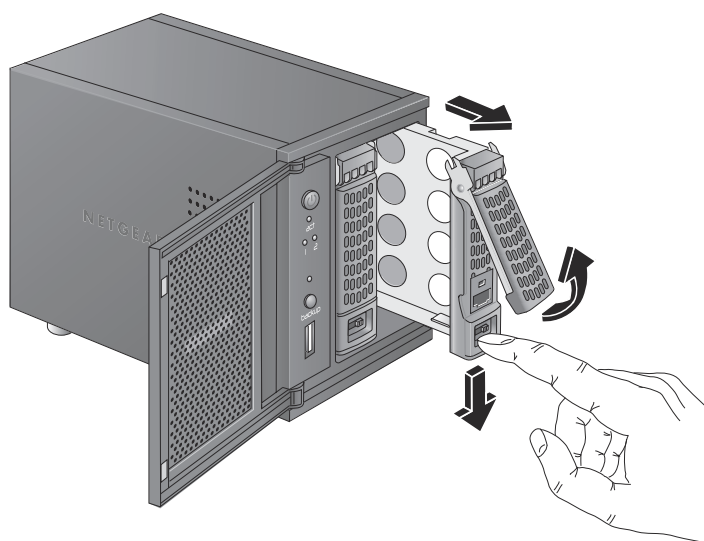
**シャーシ内の通気が正しく行われるよう、ご使用になるハードディスク台数に関わらず、ディスクトレイは全て装着してください。**

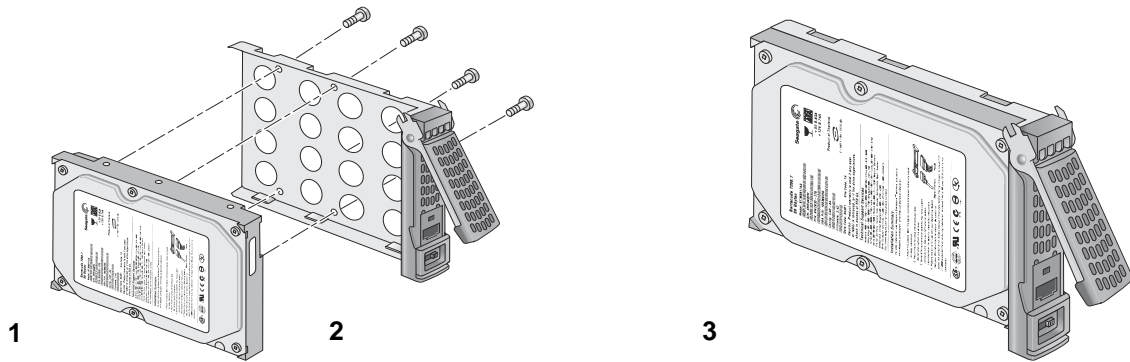
# ディスクを交換する

ディスクが故障した場合、システムはディスク交換の必要がある旨をメール通知とステータスメッセージで知らせます。ReadyNAS Dashboard のディスク状態表示画面で、当該ディスクのランプ が黄色くなります。ReadyNAS はホットスワップベイに対応しているため、ディスク交換の際、電源を落とす必 要はありません。

ディスクを以前にフォーマット済みのディスクで交換する場合は、27 ページの *以前にフォーマット済みのディスク* の注意をお読みください。

➤ **故障したディスクを交換する**

1. ディスク取り出しボタンを押します。

ディスクトレイのハンドルが開きます。

2. ディスクトレイを取り出し、故障したハードディスクを交換します。

1. ハードディスク
2. 空のディスクトレイ
3. 組み立て終えたディスクトレイ

ハードディスクのコネクタ部分がトレイハンドルの反対側を向くようにセットしてください。

3. ディスクトレイを本体に挿し込み、ハンドルを押してハードディスクを固定します。

新しいディスクのボリュームへの同期はバックグラウンドで行われます。ディスクの容量によって、このプロセスには数時間かかる場合があります。ReadyNAS を引き続き使用することはできま すが、ボリュームの同期を終えるまでアクセスは遅くなります。メール警告を設定した場合は、このプロセスが完了した時にメールが送信されます。

# 初期設定と技術仕様

この付録には、工場出荷時の初期設定と仕様が記載されています。

# 工場出荷時の初期設定

| 機能 | | 初期設定 |
|---|---|---|
| ログイン | | |
| | ReadyNAS が DCHP サーバに接続されていない場合のユーザログイン URL | https://192.168.168.168/admin |
| | 管理者名 ( 大文字と小文字を区別 ) | admin |
| | 管理者ログインパスワード ( 大文字と小文字を区別 ) | password |
| 管理 | | |
| | システム構成 | ReadyNASDashboard ( ウェブ管理画面 ) |
| | ReadyNAS の検出 | RAIDar ( Windows、Macintosh、Linux 用 ) |
| ネットワーク | | |
| | MAC アドレス | 機器固有の MAC アドレス |
| | MTU サイズ | 1500 バイト |
| | イーサネットポート | RJ-45 - 10/100/1000BASE-T、Auto Negotiation 対応 |
| | IP アドレス | DHCP サーバから取得 |

# Duo v2 技術仕様

ReadyNAS Duo v2 ストレージシステムは以下の 技術仕様に適合しています。

### 一般 :

- ネットワークストレージ（2 ライブ）、X-RAID2™、RAID Level 0, 1
- Marvell シングルコアプロセッサ
- 256MB DDR3
- ギガビットイーサネットポート x 1
- USB 2.0 ポート ( 正面、1 基 )
- USB 3.0 ポート ( 背面、2 基 )

### サイズ (H x W x D):

- 142 x 101 x 220 mm
- 5.60 x 3.98 x 8.70 in

### 重量 :

- 2.07 kg / 4.56 lb ( ディスク未搭載時 )

### 消費電力 :

- 24.2 W 標準 (1TB HDD 2 台搭載時 )
- 21.3 W アイドル

### 電源 :

- 入力 :DC 12.0V、5A

### 温度制御 :

- 92mm 冷却ファン
- 高温時のメール警告と自動シャットダウン

### 使用環境 :

- 温度：0 ～ 40° C
- 湿度：20 ～ 80% ( 結露なし )
- 安全性： FCC、UL、CE、RoHS、C-tick、VCCI、CCC、KCC、PSE ( 電気用品安全法：電源ケーブル、電源アダプタ )

# NV+ v2 技術仕様

ReadyNAS NV+ v2 ストレージシステムは以下の 技術仕様に適合しています。

**一般：**

- ネットワークストレージ（4 ドライブ）、X-RAID2™、RAID Level 0, 1, 5
- Marvell シングルコアプロセッサ
- 256MB DDR3
- ギガビットイーサネットポート x 1
- USB 2.0 ポート ( 正面、1 基 )
- USB 3.0 ポート ( 背面、2 基 )

**サイズ (H x W x D):**

- 170 x 250 x 285 mm
- 6.70 x 10.00 x 11.20 インチ

**重量：**

- 6.70 kg / 14.90 lb ( ディスク未搭載時 )

**消費電力：**

- 48.4 W 標準 (1TB HDD 4 台搭載時 )

**電源：**

- 入力 :DC 12.0V、5A

**温度制御：**

- 92mm 冷却ファン
- 高温時のメール警告と自動シャットダウン

**使用環境：**

- 温度：0 ～ 40° C
- 湿度：20 ～ 80% ( 結露なし )
- 安全性： FCC、UL、CE、RoHS、C-tick、VCCI、CCC、KCC、PSE ( 電気用品安全法：電源ケーブル )

# 安全上の注意

1. 本機はコンセントの近く､付属の電源ケーブルをつなぎやすい場所に設置してください。
2. 内蔵電池に関する注意事項をお読みください。

**危険：**

内蔵電池を異なる種類のものと交換すると、電池が破損したり、機器が故障する恐れがあります。使用済み電池は自治体の指示に従って廃棄してください。

3. 本機は、同じ建物内のネットワーク機器と LAN 接続してください。

## 電気に関する安全上の注意

電気に関する基本的な安全上の注意事項に従い、怪我や ReadyNAS の破損がないようご注意ください。

- 機器の電源ボタンの位置や、建物のブレーカーコンセントの場所を確認しておいてください。事前に場所を確認することで、電気事故が起きた場合にすぐに電源を落とすことができます。
- メインシステム部品（メモリモジュールなど）を取り外したり、取り付けたりする際は、必ず電源を切ってください。電源を切る際は、まずシャットダウンしてから、電気コードを抜いてください。
- 電源の入った電気装置を扱う際は、必ず片手で作業してください。これは、電気回路を閉じてしまい、感電の原因となることを防ぐためです。金属の工具を使用する際は十分に注意してください。接触すると、電気部品や回路基板を破損する恐れがあります。
- 静電気の放出を減少させて感電を防ぐためのマットは使用しないでください。代わりに、電気絶縁体として設計されたゴムマットを使用してください。
- 電気コードは接地プラグが付いているものを使い､接地コンセントに差し込んでください。

## 一般的な安全上の注意事項

一般的な安全上の注意事項に従ってお使いください。

- ReadyNAS の周辺はきれいに片付けてください。
- 特定の ReadyNAS 製品についての詳細は、本マニュアルの技術仕様をご覧ください。
- 内蔵電池 ： 電池は、必ず同じ種類のもの、または同等品と交換してください。使用済みは、自治体の指示に従って廃棄してください。

**危険 :**

電池を逆向きに挿入すると、極性が逆になり、破裂する恐れがあります。

- メインボード上のはんだ付けヒューズ ： メインボードに搭載されたヒューズ故障の場合は、お客様ご自身で交換せず、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## 静電放電 (ESD) に関する注意事項

静電放電 (ESD) は、電荷の異なる 2 つの物体がお互いに接触した時に発生します。静電気は、この 2 つの差異を中和させようとして発生し、電気部品や電気回路を破損する可能性があります。静電気による破損から本機を守るため、下記の事項にご注意ください。

- 静電気防止用の接地されたリストストラップを使用してください。
- すべての部品およびプリント基板は（PCB）は、使用するまで静電気防止バッグに入れて保管してください。
- ボードを静電気防止バッグから取り出す前に、接地された金属部品などに触れてください。
- 部品や PCB が服などに触れないようご注意ください。リストストラップを着用している場合でも帯電する可能性があります。
- ボードは必ず端をお持ちください。部品、周辺のチップ、メモリモジュール、端子などには触れないでください。
- チップやモジュールを取り扱う際は、ピンに触れないようご注意ください。
- メインボードや周辺機器は、使用しない時は静電気防止バッグに戻してください。
- 接地のために、お使いのコンピュータシャーシと電源、ケース、取り付け用の留め具、メインボードとの間に良好な伝導性が保たれていることを確認してください。

# 適合性に関する情報

## 各種規定との適合に関する情報

このセクションでは、電波スペクトルの使用および無線装置の操作方法に関する国内の規定に基づき本機を操作するための条件を記載しています。適合法に準拠できない場合、ユーザは行政当局により定められた規定に対し、非合法的な操作や行動を招く結果となります。

本製品のファームウェアは、特定の地域や国家で許可されたチャンネルでのみ操作可能となっています。このため、本ユーザガイドに記載されている一部の説明は、ご利用の製品バージョンに適応されない場合もあります。

## 米国における FCC 要件

### ユーザへの FCC 情報

本機にはユーザ自らが修理できる部品は含まれておらず、承認されたアンテナのみご利用になれます。本機に何らかの変更や修正を加えた場合、関連法に基づく認証や承認は無効となります。

本機は FCC 規定第 15 項に準拠しています。本機の操作は次の対象となります。(1) 本機は有害な干渉を引き起こしてはなりません。(2) 本機は、予期せぬ動作を引き起こす可能性のあるものを含め、すべての干渉を受信しなければなりません。

### 人体暴露に関する FCC ガイドライン

本機は、規制のない環境下に対し設定された FCC 放射線暴露制限を満たしています。本機は放熱体や人体から 20cm 以上離れた場所に設置してください。

本機は他のアンテナや転送装置と一緒に設置したり、操作したりしないでください。

### FCC 適合宣言

我々 NETGEAR (350 East Plumeria Drive, Santa Clara, CA 95134) は、弊社の義務として NETGEAR ReadyNAS Duo v2 および NV+ v2 が FCC 規定第 15 項に準拠することを証明します。

本機の操作は次の対象となります。

- 本機は有害な干渉を引き起こしてはなりません。
- 本機は、予期せぬ動作を引き起こす可能性のあるものを含め、すべての干渉を受信しなければなりません。

**FCC ラジオ周波数干渉警告および指示**

本機は FCC 規定第 15 章の Class B デジタル装置としてテスト済みです。これらの規制は、住宅地区における使用に際し、有害な干渉を防ぐために設定されています。本機は電磁波を発生し、外部に放射することがあります。指示どおりインストールまたは使用されない場合、無線通信に対し有害な干渉を招く可能性があります。ただし、特定のインストールを行うことで干渉防止を保証するものではありません。

本装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を招いており、本機の電源をオン / オフにすることでその干渉が確実な場合は、以下のいずれかの方法で干渉を回避してください。

- 受信アンテナの方向を変える、または設置しなおす。
- 本機とテレビ受信機との間隔を離す。
- 本機をテレビ受信機とは別のコンセントに差し込む。
- ラジオまたはテレビの販売店または技師に相談する。

本機に対し NETGEAR が承認していない変更などを加えた場合、ユーザの本装置使用権限が無効になる場合があります。

## カナダ通信省の無線障害規制

このデジタル装置 (NETGEAR ReadyNAS Duo v2 および NV+ v2 は、カナダ通信省（Canadian Department of Communications）の無線障害規制（Radio Interference Regulations）に規定された、デジタル装置から放出される電波雑音のクラス B 規制に適合しています。

## 欧州連合

ビジネス用 ReadyNAS Duo v2 および NV+ v2 は EU EMC 指令 2004/108/EC および低電圧指令 2006/95/EC の基本条件を満たしており、以下の試験方法および標準に申請し、準拠しています。

- EN55022:2006 / A1:2007
- EN55024:1998 / A1:2001 / A2:2003
- EN60950-1:2005 2nd Edition
- EN 61000-3-2:2006
- EN 61000-3-3:1995 w/A1:2001+A2:2005

## 日本

この装置は，クラスB情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI－B

# 索引

## て



## と



## は



## ふ



## ほ



## め